

フランス語 (French)

フランス語初級 (Elementary French)

(総科 ((総科 B)1 年))

長井 伸仁・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1 単位 後期 木 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目: 『フランス語初級』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『フランス語 (1)』)

(ペア指定: フランス語初級 (総科 ((総科 B)1 年)) 長井 / 後期 火 3・4 ⇒ ??頁)

【授業の目的】 フランス語は、フランスの他、ベルギー、スイス、カナダ、カリブ海諸島、アフリカなど、世界の多くの地域で話されています。また、言語としてはスペイン語やイタリア語と近い関係にあります。この授業では、前期の「入門」で得た知識をもとに、フランス語の総合的コミュニケーション能力を高めることを目指します。この「初級」を修了すれば、文法的な知識はひととおり身につけているはずで、あとは語彙を増やし、さまざまな表現を身につけるだけです。

【授業の概要】 学習内容は、文法、読解、作文、会話のすべてにわたります。また、ことばだけでなく、ことばを話す人たちについても知ってもらうため、フランスやフランス語圏の社会や文化にもふれます。

【キーワード】 フランス語、言語

【先行科目】 『フランス語/フランス語入門』 (1.0)

【関連科目】 『フランス語/フランス語初級』 (1.0)

【到達目標】

1. 簡単な質問や意見の交換が口頭でできる。
2. 過去や未来に関する平易な文章が読め、書ける。

【授業の計画】

1. 1-3 週: マンガ、目的語。
2. 4-6 週: 言語と通貨、複合過去と半過去。
3. 7-9 週: 植民地と移民、大過去、単純未来。
4. 10-12 週: フランス人と法、接続法、ジェロンディフ。
5. 13-14 週: フランス人とワイン、条件法。
6. 15-16 週: 期末試験・総括授業

【教科書】 大木充ほか『グラメール・アクティヴー文法で複言語・複文化―』朝日出版社、2010 年、2,500 円+税、ISBN: 978-4-255-35210-7。

【参考書等】 仏和辞典を必ず購入し、授業に持参してください (どの出版社のものでも構いません)。

【成績評価の方法】 平常点 (授業への取り組み、小テストの得点) と学期末試験の得点をもとに、総合的に評価します。

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 この授業は火曜 3・4 講時の授業とセットであり (ペアクラスと呼ばれる制度です)、どちらかの授業だけ受講することはできません。単位は各学期 2 単位ずつ認定されます。なお、前期に「入門」の単位を取得できなかった学生の受講も認めますが、授業は「入門」のレベルをクリアしていることを前提にして進めます。積極的な自宅学習で遅れを取り戻してください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221257>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 長井 (3116-2,) (オフィスアワー: 月曜の昼休み)

【備考】 火曜 3・4 講時のフランス語初級とのペアクラスです。